

企 画 名：ネオニコチノイド系農薬フリー地域づくり

団 体 名：一般社団法人日本在来種みつばち協会

1. 報告要旨

ミツバチだけでなくホタル、トンボやカエルなどの生き物がネオニコチノイド系農薬の空中散布により、全国の水田や里山から姿を消しつつある。この問題を解決するために水田での農薬空中散布中止を地域全体、または山で囲まれ水系を中心としたエリア全体で取り組むことが大切である。

茨城県笠間市上郷地区、稲敷市釜井地区、大子町生瀬地区で農薬空中散布の実施状況を調査し、各地区の生産者と協力しながら県や市町へ呼びかけ、ネオニコチノイド空中散布中止に向けた会議を開催しました。

また笠間市上郷地区において3方向を山で囲まれ150haという大規模な水田・里山エリアでの空中散布中止を地域全体で実現していくことを目的としました。上郷地域では、「上郷地域うまい米づくり研究会」が中心となり、県や市の担当者と協議し協力を受けながら活動を展開しました。私たちはその活動を支援することで「ネオニコフリーの地域づくり」実現を目指し、その成果を県内外に発表することを目標としました。

主な活動内容は田んぼの生きものを指標にするために地域で生きもの調査の指導者育成、及び田んぼの生きものシンポジウムを開催することで都会の消費者を圃場に招き、ネオニコチノイド系農薬を使用しない田んぼを生きものを通した目線で観察してもらいました。また、「どんと焼き」などの地域イベントでは非農家の地域住民を含めた住民全体に活動をPRしました。

そんな活動が実を結び、行政の補助金を受けて色彩選別機を導入し玄米選別実施で1等米比率あげると言う事例をつくることが出来ました。こうした成果として36戸15.18haでネオニコチノイド系農薬の空中散布中止が実現できました。また、中止農家の協力を得て被害粒調査も実施しました。

こうした成果を上郷地域及び、都内で開催するシンポジウムで報告すると同時に、関係する行政担当者にも呼びかけて茨城県庁にて報告会も実施しました。助成期間終了後も活動は進んでいます。

2. 成果物

1. 大子町生瀬地区、稲敷市釜井地区、笠間市上郷地区の空中散布状況図
2. [笠間市上郷地域空中散布新規圃場の被害粒比較表](#)
3. [田んぼの生きものワークショップ報告書](#)
4. [田んぼの生きものシンポジウム&どんと焼き報告書](#)
5. [環境シンポジウム報告書](#)
6. [上郷地域ネオニコフリー地域づくり報告書](#)